

長浜バイオ大学学則

第1章 総 則

第1節 目 的

- 第1条 本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、新時代に相応しい豊かな人間性と幅広い教養を涵養し、科学的合理性に富む最先端のバイオサイエンス専門技術教育を行い、もって、時代を切り拓く視野と創造性、高い専門知識と技術力を身につけた人材を養成するとともに、地域社会の発展、産業の振興、国際交流並びに学術文化の発展に貢献することを目的とする。
- 2 第3条に定める学科の人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的については、学科ごとに別に定める。

第2節 自己点検および自己評価

- 第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、自ら点検および評価を行うものとする。
- 2 前項の点検および評価に関し必要な事項は、別に定める。

第3節 組 織

(学 部)

- 第3条 本学に、次の学部および学科を置く。

バイオサイエンス学部 バイオサイエンス学科
アニマルバイオサイエンス学科
コンピュータバイオサイエンス学科

(定 員)

- 第4条 前条の学部に置く学科のコースおよび入学定員、収容定員は、次のとおりとする。

学 科	コース	入学定員	編入学定員	収容定員
バイオサイエンス学科	遺伝子生命科学コース	148名	3年次4名	960名
	分子生命科学コース			
	細胞生命科学コース			
	環境生命科学コース			
アニマルバイオサイエンス学科		50名		
コンピュータバイオサイエンス学科		40名		

(附属図書館)

- 第5条 本学に、図書館を置く。
- 2 図書館に関する規程は、別に定める。

第4節 職員組織

(学長)

第6条 本学に学長を置く。

- 2 学長は、本学の教学に関する事項を統括する。
- 3 学長の選考、任期その他必要な事項は、別に定める。

(職員)

第7条 本学に教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員およびその他の職員を置く。

(学部長)

第8条 学部に学部長を置き、当該学部の教授をもって充てる。

- 2 学部長は、学部の教学に関する事項を統括する。
- 3 学部長の選考、任期その他必要な事項は、別に定める。

(学科長)

第8条の2 学科に学科長を置き、当該学科の教授をもって充てる。

- 2 学科長は、学科の教学に関する事項を統括する。
- 3 学科長の選考、任期その他必要な事項は、別に定める。

(名誉教授)

第9条 本学に、名誉教授を置くことができる。

- 2 前項に関し必要な事項は、別に定める。

(客員教員等)

第10条 本学に客員教員および客員研究員を置くことができる。

- 2 前項に関し必要な事項は、別に定める。

第5節 教授会

(教授会)

第11条 本学の学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、学部に所属する教授、准教授、および講師をもって構成する。ただし、教授会が必要と認めるときは、その他の職員を加えることができる。
- 3 教授会は、学部長がこれを招集し、議長となる。
- 4 学長は、必要と認めるとき、教授会の招集を要請し、または教授会に出席して発言することができる。
- 5 教授会は、次の事項について審議する。
 - (1) 教育課程、授業、学力考査および単位の認定に関すること
 - (2) 学部長の選出に関すること
 - (3) 教員の選考および教員の人事に関すること
 - (4) 教員の役職・委員に関すること

- (5) 学則その他重要な規程に関する事
- (6) 学生の入学、退学、転学、留学、休学、復学および卒業に関する事
- (7) 入学試験に関する事
- (8) 学生の指導および賞罰に関する事
- (9) 学長または学部長が諮問した事項
- (10) その他、教育、研究および学部運営に関する重要な事項

6 教授会の運営等に必要な事項は、別に定める。

第6節 学年、学期および休業日

(学 年)

第12条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学 期)

第13条 学年を分けて、次の2学期とする。

- | | |
|-----------|-------------------|
| 前 期 (春学期) | 4月 1日から9月30日まで |
| 後 期 (秋学期) | 10月 1日から翌年3月31日まで |

(休業日)

第14条 本学の休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日および土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
 - (3) 学長が必要と認めるときは、教授会の議を経て前各号の休業日のほかに休業の日を定めることができる。
- 2 学長は必要がある場合は、前項の休業日を変更し、もしくは臨時に休業し、または休業日における授業等を行わせることができる。

第2章 通 則

第1節 修業年限および在学年限

(修業年限)

第15条 修業年限は、4年とする。

(在学年限)

第16条 学生は8年を超えて在学することはできない。ただし、編入学、転入学および再入学したものにあっては、それぞれ在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することはできない。

第2節 入 学

(入学の時期)

第17条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、編入学、転入学および再入学については、

学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第18条 本学に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者または通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
- (7) その他相当の年令に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた者

(入学の出願)

第19条 本学に入学を志願する者は、所定の期日までに入学願書、その他別に定める書類を提出するとともに、入学検定料を納入しなければならない。

- 2 一旦納入された入学検定料は返還しない。

(入学者の選考)

第20条 入学者の選考は、別に定めるところにより行う。合否は教授会において判定する。

(入学手続および入学許可)

第21条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに入学申込手続書類を提出し、所定の入学金および学費を納付しなければならない。入学の手続については別に定める。

- 2 前項の入学手続を完了した者については、教授会の議を経て、学長が入学を許可する。

(編入学)

第22条 本学に編入学を志願する者については、選考の上、教授会の議を経て3年次に入学を許可することができる。

- 2 前項により入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。
 - (1) 他の大学を卒業した者
 - (2) 大学に2年以上在学し、60単位以上修得した者
 - (3) 短期大学または高等専門学校を卒業した者
 - (4) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第56条に規定する者に限る。)

(転入学)

第23条 他の大学に在籍している者で本学に転入学を志願する者については、選考の上、教授会

の議を経て、相当年次に入学を許可することができる。

(転学科)

第 23 条の 2 本学の他の学科に転学科を希望する者については、選考の上、教授会の議を経て、2 年次または 3 年次に入学を許可することができる。

2 転学科に関する取り扱いについては、別に定める。

(再入学)

第 24 条 本学を卒業または退学した者で、本学に再入学を志願する者があるときは、選考の上、教授会の議を経て、相当年次に入学を許可することができる。

(編入学等の場合の取扱い)

第 25 条 前 3 条の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目および修得した単位数の取扱いならびに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

第 3 節 授業科目および履修方法等

(授業科目)

第 26 条 授業科目は、その内容により、一般教育科目、専門教育科目および特定教育科目を置く。

2 学部における授業科目および単位は、別表のとおりとする。

(単位計算方法)

第 27 条 各授業科目の単位数は、1 単位を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義および演習については、15 時間ないし 30 時間の授業をもって 1 単位とする。

(2) 実験、実習および実技については、30 時間ないし 45 時間の授業をもって 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切であると認められる場合には、教授会が単位数を定めることができる。

(単位の授与)

第 28 条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(履修方法および修得単位数)

第 29 条 学生は、卒業に必要な単位として、「長浜バイオ大学バイオサイエンス学部履修規程」に定めるところに従い、授業科目から、次のとおり、修得しなければならない。

(1) バイオサイエンス学科

一般教育科目 3 2 単位、専門教育科目 8 0 単位を含む、合計 1 2 8 単位以上

(2) アニマルバイオサイエンス学科

一般教育科目 3 2 単位、専門教育科目 8 3 単位を含む、合計 1 2 8 単位以上

(3) コンピュータバイオサイエンス学科

一般教育科目 3 2 単位、専門教育科目 8 0 単位を含む、合計 1 2 8 単位以上

（他大学等における授業科目の履修等）

第30条 本学が教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、他大学または短期大学との協議に基づき、学生に当該他大学または短期大学の授業科目を履修させることができる。

- 2 前項の規定により修得した単位については、60単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得した単位とみなすことができる。
- 3 前2項の規定は、学生が外国の大学または短期大学に留学した場合に準用する。
- 4 第2項による科目の取り扱い、単位認定等については、別に定める。

（大学以外の教育施設等における学修）

第31条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条により修得したとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（入学前の既修得単位等の認定）

第32条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を与えることができる。

- 2 学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前2項の規定により与えることができる単位数は、編入学、転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第30条第1項および第3項ならびに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（成績の評価）

第33条 授業科目の試験の成績は、A、B、CおよびDをもって表し、A、B、およびCを合格とし、Dを不合格とする。ただし、評点を付さない授業科目については、合格、不合格をもって表す。

第4節 休学・転学・留学および退学

（休学）

第34条 病気その他やむをえない事由により引き続き2ヶ月以上修学することができない者は、所定の手続の上、休学することができる。

- 2 病気のため修学することが適当でないと認められる者については、教授会の議を経て、学長は休学を命ずることができる。
- 3 休学に関する取り扱いについては、別に定める。

（転学）

第35条 他の大学等への入学または転入学を志願する者は、学長の許可を受けなければならない。

2 転学に関する取り扱いについては、別に定める。

(留 学)

第36条 外国の大学等に留学することを志願する者は、学部長の許可を受けなければならない。

2 留学に関する取り扱いについては、別に定める。

(退 学)

第37条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

2 退学に関する取り扱いについては、別に定める。

(除 籍)

第38条 次のいずれかに該当する者については、教授会の議を経て、学長は除籍することができる。

- (1) 授業料その他の学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 第16条に定める在学年限を越えた者
- (3) 休学期間の通算限度を超えて、なお復学できない者
- (4) 死亡した者または2年以上にわたり行方不明の者

第5節 卒業、学位および資格

(卒 業)

第39条 本学に4年(第22条から24条までの規定により入学した者にあつては、第25条の規定により定められた在学すべき年数)以上在学して、第29条に定める単位を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。

(学 位)

第40条 卒業した者には、次の学士の学位を授与する。

学士(バイオサイエンス)

第6節 賞 罰

(表 彰)

第41条 本学の目的および使命に則り、他の学生の模範となる行為のあった学生に対し、教授会の議を経て、学長は表彰することができる。

(懲 戒)

第42条 本学の学則その他の規程に違反し、または本学学生としての本分に反する行為をした者については、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

2 懲戒の種類は、訓告、停学および退学とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなくて出席が常でない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第7節 福利厚生施設

第43条 本学に、学生の福利厚生を図るため、外国人留学生居住施設、医務室その他の施設を置く。

第3章 補 則

第1節 研究生、研修員、科目等履修生、聴講生 および外国人留学生

(研究生)

第44条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者がある時は、本学の教育研究に支障のない場合に限り、教授会の議を経て、学長は研究生として受け入れることができる。

2 研究生に関する規程は、別に定める。

(研修員)

第45条 本学において、官公庁、学校その他の機関から、その所属する職員に特定の専門事項について研究・研修させるための委託があるときは、教育研究に支障のない場合に限り、教授会の議を経て、学長は研修員として受け入れることができる。

2 研修員に関する規程は、別に定める。

(科目等履修生)

第46条 本学の学生以外の者で、本学の特定科目を履修し、その単位の修得を希望する者がある時は、本学教育に支障のない場合に限り、教授会の議を経て、学長は科目等履修生として許可することができる。

2 科目等履修生に関する規程は、別に定める。

(聴講生)

第47条 本学の学生以外の者で、本学の特定科目を聴講することを志願する者がある時は、教授会の議を経て、学長は聴講生として許可することができる。

2 聴講生に関する規程は、別に定める。

(特別聴講生)

第48条 他の大学等との協定に基づき、本学の科目を履修し、その単位の修得を希望する者がある場合、教授会の議を経て、学長は、特別聴講生として受け入れを許可することができる。

2 特別聴講生に関する規程は、別に定める。

(外国人留学生)

第49条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者が

ある時は教授会の議を経て、学長は入学許可または受け入れをすることができる。

- 2 外国人留学生に関する規程は、別に定める。

第2節 入学料、授業料およびその他の学費

(入学料)

第50条 入学を許可された者は、所定の期日までに入学料を納めなければならない。

- 2 前項の入学料を納めない時は、入学の許可を取り消すことができる。
- 3 入学料に関する規程は、別に定める。

(授業料等)

第51条 授業料等は、所定期日までに納めなければならない。

- 2 授業料等に関する規程は、別に定める。

第3節 奨学制度

(奨学制度)

第52条 本学に奨学生制度を設け、学業、人物ともに優秀な者に奨学金を支給する。

- 2 前項の制度に関する取り扱いは、別に定める。

第4章 改廃規定

(改廃)

第53条 本学則の改廃は、教授会の議を経て、理事会の承認により行う。

附 則

- 1 この学則は、2003年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、2006年12月12日に改正し、2007年4月1日から施行する。(第7条、第11条)

附 則

この学則は、2007年2月9日に改正し、2007年4月1日から施行する。(第26条、第29条、第30条、第48条、第49条、第50条、第51条、第52条、第53条)

ただし、環びわ湖単位互換制度に伴う特別聴講生に関する規程は2006年度受け入れ学生より適用する。また、別表に掲載する「文学」および「経済学」は2006年度入学生より、「現代の政治と社会」、「英語Ⅲ」および「英語Ⅳ」は2005年度入学生よりそれぞれ適用する。また、「特殊講義(単位互換)」は2003年度入学生より自由選択科目として、「特殊講義(編入学)」は2009年度編入学者よりそれぞれ適用する。

附 則

この学則は、2008年3月5日に改正し、2008年4月1日から施行する。 (第1条)

附 則

1. この学則は、2008年5月29日に改正し、2009年4月1日から施行する。 (第3条、第4条、第23条の2、第29条、別表)
2. この学則は、第42回理事会(2009年3月26日)の議を経て、2009年4月1日に改正し、即日施行する。(第8条の2 追加)

別 表

1. バイオサイエンス学科

(1) 一般教育科目

授業科目の名称	単位数
哲学	2
法学（日本国憲法）	2
歴史学	2
日本文化論	2
心理学	2
情報社会	2
科学技術史	2
日本の歴史と文化	2
文学	2
経済学	2
現代の政治と社会	2
健康保健学	2
英語Ⅰ	1
英語Ⅱ	1
科学英語Ⅰ	1
科学英語Ⅱ	1
英会話Ⅰ	1
英会話Ⅱ	1
日本語会話Ⅰ	1
日本語会話Ⅱ	1
英語Ⅲ	1
英語Ⅳ	1
文章表現	1
プレゼンテーション技法	1
コンピュータ実習（情報科学演習）Ⅰ	2
コンピュータ実習（情報科学演習）Ⅱ	2
数学Ⅰ（数学基礎）	2
数学Ⅱ（解析学）	2
数学Ⅲ（線形代数学）	2
基礎統計学	2

授業科目の名称	単位数
基礎物理学Ⅰ（力学）	2
基礎物理学Ⅱ（電磁気学）	2
化学Ⅰ（有機化学）	2
基礎生物学	2
基礎化学演習	1
自然科学基礎実験	2
ライフデザイン	2
キャリア開発Ⅰ	2
キャリア開発Ⅱ	2
インターンシップ実習	1

（2）専門教育科目

授業科目の名称	単位数
化学Ⅱ（物理化学）	2
化学Ⅲ（無機・分析化学）	2
生化学Ⅰ（生体成分化学）	2
細胞生物学Ⅰ	2
基礎微生物学	2
遺伝子科学基礎実験	1
分子科学基礎実験	1
細胞科学基礎実験	1
環境科学基礎実験	1
生命情報科学概論	2
放射線概論	2
安全学	2
タンパク質科学	2
細胞生物学Ⅱ	2
組織学	2
機器分析概論	2
ゲノム解析学	2
酵素科学	2
遺伝子科学	2

授業科目の名称	単位数
遺伝子工学	2
環境影響評価論	2
環境化学	2
生体高分子解析学	2
生命倫理	2
生化学Ⅱ（代謝生化学）	2
環境生態学	2
環境分析化学	2
生命情報科学応用実習Ⅰ	2
生命情報科学応用実習Ⅱ	2
遺伝子科学応用実験Ⅰ	1
遺伝子科学応用実験Ⅱ	1
分子科学応用実験Ⅰ	1
分子科学応用実験Ⅱ	1
細胞科学応用実験Ⅰ	1
細胞科学応用実験Ⅱ	1
環境科学応用実験Ⅰ	1
環境科学応用実験Ⅱ	1
進化生物学	2
細胞工学	2
植物分子遺伝学	2
植物分子環境生理学	2
環境微生物学	2
生体分子応答学	2
構造生物学	2
ゲノム創薬科学	2
タンパク質工学	2
バイオビジネス概論	2
バイオマテリアル産業論	2
食品機能科学	2
応用微生物学	2
病態生化学	2
放射線生物学	2

授業科目の名称	単位数
生物生産学概論	2
発生生物学	2
ウイルス学	2
糖質生物学	2
医学生物学	2
遺伝子科学専門実験Ⅰ	1
遺伝子科学専門実験Ⅱ	4
分子科学専門実験Ⅰ	1
分子科学専門実験Ⅱ	4
細胞科学専門実験Ⅰ	1
細胞科学専門実験Ⅱ	4
環境科学専門実験Ⅰ	1
環境科学専門実験Ⅱ	4
環境保全学	2
生理活性物質概論	2
文献調査・講読	2
卒業研究	8

(3) 特定教育科目

授業科目の名称	単位数
特殊講義（単位互換）	1, 2 又は 4
特殊講義（編入学）	1, 2 又は 4

2. アニマルバイオサイエンス学科

授業科目の名称	単位数
哲学	2
法学（日本国憲法）	2
歴史学	2
日本文化論	2
心理学	2
情報社会	2
科学技術史	2
日本の歴史と文化	2
文学	2
経済学	2
現代の政治と社会	2
健康保健学	2
英語Ⅰ	1
英語Ⅱ	1
科学英語Ⅰ	1
科学英語Ⅱ	1
英会話Ⅰ	1
英会話Ⅱ	1
日本語会話Ⅰ	1
日本語会話Ⅱ	1
英語Ⅲ	1
英語Ⅳ	1
文章表現	1
プレゼンテーション技法	1
コンピュータ実習（情報科学演習）Ⅰ	2
コンピュータ実習（情報科学演習）Ⅱ	2
数学Ⅰ（数学基礎）	2
数学Ⅱ（解析学）	2
数学Ⅲ（線形代数学）	2
基礎統計学	2

授業科目の名称	単位数
基礎物理学Ⅰ（力学）	2
基礎物理学Ⅱ（電磁気学）	2
化学Ⅰ（有機化学）	2
基礎生物学	2
基礎化学演習	1
自然科学基礎実験	2
ライフデザイン	2
キャリア開発Ⅰ	2
キャリア開発Ⅱ	2
インターンシップ実習	1

（2）専門教育科目

授業科目の名称	単位数
化学Ⅱ（物理化学）	2
化学Ⅲ（無機・分析化学）	2
生化学Ⅰ（生体成分化学）	2
細胞生物学Ⅰ	2
基礎微生物学	2
動物学概論	2
動物管理学	2
遺伝子科学基礎実験	1
分子科学基礎実験	1
細胞科学基礎実験	1
動物科学基礎実験	1
安全学	2
タンパク質科学	2
細胞生物学Ⅱ	2
組織学	2
機器分析概論	2
ゲノム解析学	2
酵素科学	2

授業科目の名称	単位数
動物遺伝子科学	2
遺伝子工学	2
環境影響評価論	2
生体高分子解析学	2
生命倫理	2
生化学Ⅱ（代謝生化学）	2
環境生態学	2
動物生理学	2
動物生殖学	2
食品安全評価学	2
神経科学	2
生命情報科学応用実習Ⅰ	2
生命情報科学応用実習Ⅱ	2
遺伝子科学応用実験Ⅰ	1
遺伝子科学応用実験Ⅱ	1
分子科学応用実験Ⅰ	1
分子科学応用実験Ⅱ	1
細胞科学応用実験Ⅰ	1
細胞科学応用実験Ⅱ	1
動物科学応用実験Ⅰ	1
動物科学応用実験Ⅱ	1
進化生物学	2
生体分子応答学	2
ゲノム創薬科学	2
バイオマテリアル産業論	2
食品機能科学	2
応用微生物学	2
病態生化学	2
生物生産学概論	2
発生生物学	2
動物発生学	2
動物病理学	2

授業科目の名称	単位数
感染生物学	2
糖質生物学	2
動物栄養学	2
発生工学	2
薬理学	2
動物系統分類学	2
医学生物学	2
遺伝子科学専門実験	1
動物科学専門実験Ⅰ	1
動物科学専門実験Ⅱ	4
動物科学専門実験Ⅲ	1
動物科学専門実験Ⅳ	1
動物科学演習	1
動物行動管理学実習	1
野外調査実習	1
環境保全学	2
生理活性物質概論	2
公衆衛生学	2
文献調査・講読	2
卒業研究	8

(3) 特定教育科目

授業科目の名称	単位数
特殊講義 (単位互換)	1, 2 又は 4

3. コンピュータバイオサイエンス学科

授業科目の名称	単位数
哲学	2
法学（日本国憲法）	2
歴史学	2
日本文化論	2
心理学	2
情報社会	2
科学技術史	2
日本の歴史と文化	2
文学	2
経済学	2
現代の政治と社会	2
健康保健学	2
英語Ⅰ	1
英語Ⅱ	1
科学英語Ⅰ	1
科学英語Ⅱ	1
英会話Ⅰ	1
英会話Ⅱ	1
日本語会話Ⅰ	1
日本語会話Ⅱ	1
英語Ⅲ	1
英語Ⅳ	1
文章表現	1
プレゼンテーション技法	1
コンピュータ実習（情報科学演習）Ⅰ	2
コンピュータ実習（情報科学演習）Ⅱ	2
数学Ⅰ（数学基礎）	2
数学Ⅱ（解析学）	2
数学Ⅲ（線形代数学）	2
基礎統計学	2

授業科目の名称	単位数
基礎物理学Ⅰ（力学）	2
基礎物理学Ⅱ（電磁気学）	2
化学Ⅰ（有機化学）	2
基礎生物学	2
基礎化学演習	1
自然科学基礎実験	2
ライフデザイン	2
キャリア開発Ⅰ	2
キャリア開発Ⅱ	2
インターンシップ実習	1

（2）専門教育科目

授業科目の名称	単位数
化学Ⅱ（物理化学）	2
生化学Ⅰ（生体成分化学）	2
細胞生物学Ⅰ	2
基礎微生物学	2
コンピュータ概論	2
遺伝子科学基礎実験	1
分子科学基礎実験	1
環境科学基礎実験	1
コンピュータグラフィックス実習	1
データベース実習Ⅰ	1
生命情報科学概論	2
安全学	2
タンパク質科学	2
細胞生物学Ⅱ	2
ゲノム解析学	2
酵素科学	2
遺伝子科学	2
遺伝子工学	2
環境影響評価論	2

授業科目の名称	単位数
環境化学	2
生体高分子解析学	2
生命倫理	2
生化学Ⅱ（代謝生化学）	2
環境生態学	2
データベース・ネットワーク概論	2
モデル化シミュレーション概論	2
生命情報科学応用実習Ⅰ	2
生命情報科学応用実習Ⅱ	2
遺伝子科学応用実験Ⅰ	1
遺伝子科学応用実験Ⅱ	1
分子科学応用実験Ⅰ	1
分子科学応用実験Ⅱ	1
環境科学応用実験Ⅰ	1
環境科学応用実験Ⅱ	1
プログラミング実習	1
データベース実習Ⅱ	1
進化生物学	2
生物情報統計学	2
細胞工学	2
植物分子遺伝学	2
植物分子環境生理学	2
環境微生物学	2
構造生物学	2
ゲノム創薬科学	2
タンパク質工学	2
バイオビジネス概論	2
バイオマテリアル産業論	2
情報科学概論	2
食品機能科学	2
応用微生物学	2
病態生化学	2
発生生物学	2

授業科目の名称	単位数
ウイルス学	2
糖質生物学	2
医学生物学	2
システムズバイオロジー概論	2
生命情報科学専門実習Ⅰ	2
生命情報科学専門実習Ⅱ	4
遺伝子科学専門実験	1
分子科学専門実験	1
データベース実習Ⅲ	1
コンピュータ英語演習	1
環境保全学	2
生理活性物質概論	2
食品・創薬インフォマティクス	2
文献調査・講読	2
卒業研究	8

(3) 特定教育科目

授業科目の名称	単位数
特殊講義 (単位互換)	1, 2 又は 4